

平成24年度文化庁メディア芸術人材育成支援事業

NODE. WORKSHOP SHOWCASE 2012 PROJECTION MAPPING WORKSHOP

2013年1月9日(水) -20日(日) 参加無料

アートラボあいち1F・3F



開館時間: 11:00~19:00
休館日: 月・火曜日(祝日開館)
〒460-0003 名古屋市中区錦2-10-30
TEL: 052-204-6444
E-mail: info@artlabaichi.net
WEB: www.artlabaichi.net

地下鉄東山線・鶴舞線【伏見】駅
1番出口より北東へ徒歩3分

ワークショップのお申し込みはウェブサイトにてお願いします。
内容は変更になることがありますので最新情報をご確認ください。

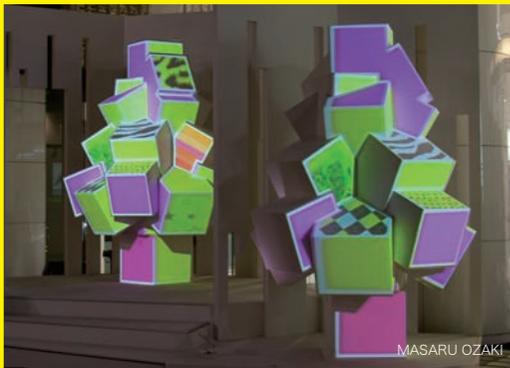
www.node-lab.org

お問合せ NODE事務局 mail@node-lab.org
共催 NODE あいちトリエンナーレ実行委員会
協力 長者町アートビジュアル 中京大学
日本パーソナルファブ리케이션協会
助成 平成24年度文化庁メディア芸術人材育成支援事業

アート ラボ あいち
ART LAB AICHI



文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS



Aプログラム [立体オブジェとプロジェクションマッピング制作]
 日程 1月12日 [土] 15:00~18:00 [定員15名・事前申込]
 1月13日 [日] 15:00~18:00 [定員50名・当日参加可]
 ＊特別講師 MASARU OZAKI
 以降の日は公開制作を行います。
 会場 アートラボあいち1F
 参加費 無料

このワークショップでは立体の造形物とプロジェクションマッピング映像の制作を行います。オブジェの完成度はもとより、プロジェクションマッピングのさまざまな応用や、デジタルサイネージとしての表現方法などをディスカッションしながら制作を進めていきます。
 数回のワークショップ、勉強会を経て、3月上旬に成果発表を行います。

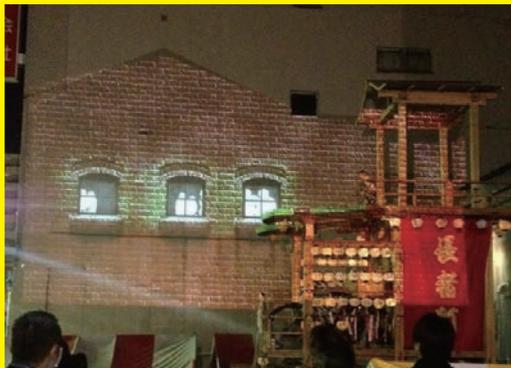
制作条件

- ・造形物と映像の制作を行なう。
- ・タイムライン（時間軸映像）、インタラクティブ映像など手法は問わない。
- ・個人、もしくはグループでの制作可。

持参するもの

- ・ノートPC (Win MAC 問わず)
- ・映像系ソフトウェア
- ・プロジェクターをお持ちでしたらご持参ください

参加募集



Bプログラム [建築物へのプロジェクションマッピング制作]
 日程 1月14日 [月・祝] 15:00~18:00 [定員15名]
 以降の日は公開制作を行ないます。
 会場 アートラボあいち1F
 参加費 無料

このワークショップでは建築物へのプロジェクションマッピング映像の制作を行います。建築物へのマッピングの効果やクオリティをあげるノウハウを学び、タイムライン映像を各自で制作していきます。
 数回のワークショップ、勉強会を経て、3月上旬に成果発表を行います。

制作条件

- ・特定のテンプレートに従って映像の制作を行う。
- ・タイムライン（時間軸映像）に限定する。
- ・各自数分の映像を制作し、最終的に1本にまとめる。

持参するもの

- ・ノートPC (Win MAC 問わず)
- ・映像系ソフトウェア

参加募集

1月13日 特別講師

MASARU OZAKI 尾崎 勝

Contemporary Artist
 Motion Graphics Designer
 Creative Director

<http://motiondesignmagic.com>

モーションをデザインすることで質感表現をするアニメーションを得意とし、独創的な映像でスペインのSONARやHDフォーラムなどに出演。ステージやライブで音に合わせて映像をリアルタイムに操るパフォーマンスアートのパイオニア的存在である。ニールバレット、ディーゼルをはじめとする世界を代表するトップブランドのファッションショー映像演出や空間演出など。

既存の平面なスクリーンではなく、立体物に正確なスキャンをし、さらにオプティカルトリックを取り入れた立体映像を演出するアート作品を展開。目の前で様々な変化が体験できる「chair」をはじめ、上海万博では多くの会場の演出を手がけ、日本館メインエントランスには氏の立体彫刻やアート作品が常設されるなど、その活躍はワールドワイドに広がっている。



chair

プロジェクションマッピング コンペ

本ワークショップでのAプログラム、Bプログラムの成果は3月上旬に開催予定の成果発表会にて展示、上映いたします。その際にコンペ形式として審査会が行なわれ優秀賞を決定いたします。入選作品には記念品を贈呈いたします。

特別審査員 MASARU OZAKI
 ほか



NODE.WORKSHOP SHOWCASEとは

この事業は、メディア芸術人材の育成とともに、都市における公共的なメディア芸術表現の普及活動となるもので、電子メディアを使ったデジタルサイネージを軸に表現手法や技術に関するワークショップを実施し、若手のメディアアーティストの育成を支援します。

同時開催

日韓交流事業 CONSONARE
 luminous and sound device workshop / exhibition
 アートラボあいち1F・3F